

## 重点的横断戦略プラン② – 2 プロジェクト構成案

都市の機能と魅力を高め、活力あふれる都市を創る取組み

# 『リージョン・コア YOKKAICHI』

～来たくなる、働きたくなる、住みたくなる～

まちの未来を守り、将来の市民にバトンをつなぐ

# 『環境・防災先進都市』

の実現に向けて

## プロジェクト **04** 近未来のスマートシティ 創造プロジェクト

これからは人口減少に伴い、他にはない魅力や良質な住環境を持つ都市に、人や資源が集中していきます。

私たちのまち四日市を、みどり豊かな美しい街並みの創出と環境低負荷型の都市システムの創造により、環境的に持続可能で、生活満足度の高い、次世代に受け継がれる都市へと進化させていきます。



## プロジェクト 05 都市の「空き」再活用 魅力増進プロジェクト

少子高齢化の急速な進展とライフスタイルが多様化する中で、高度成長時代に築いた都市の資産(ストック)に「空き」が生じてきています。

活用に「空き」が見られる公共施設や公園、空き家など、都市を形づくる様々な要素にもう一度活躍の場を創出することで、地域の特性に合わせた魅力づくりを進めます。



## プロジェクト 06 みんなで備える地域防災連携強化プロジェクト

大規模災害はいつ発生してもおかしくないことを前提に、事前の想定と備えを十分しておく必要があります。

私たち自ら行動し、地域で互いの顔が見える協力関係を築くことがまちの安全安心を飛躍的に高め、災害から大切な命や資産を守る力となるため、地域のコミュニティ力を地域防災の強化に繋げる取組みを進めます。



名古屋都市圏の【核】となり存在感を持つため、

「多様な都市機能が集積し、人で賑わい、まちの魅力にあふれるまちづくり」を進めます。

# No.1 スマートエネルギーの利活用促進

環境+産業+防災

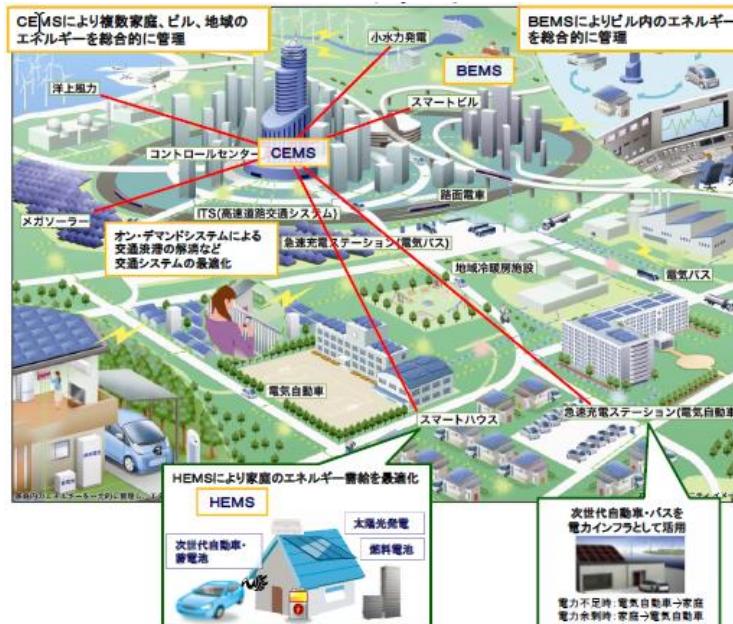
## 目的

本市における温室効果ガス排出量を削減するために

## 環境に配慮したスマートエネルギーの利活用を促進する

## 具体的取組

- ① 公共施設における「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」に関する最新技術の導入に取り組みます。
- ② AI・IoTを利用したエネルギー管理システムの導入に取り組みます。
- ③ CO2削減や新エネルギーの活用に向けた企業の取組を支援します。



スマートシティのイメージ

公共施設に、環境に配慮した電気自動車や蓄電池など配備することにより、温室効果ガスの削減だけでなく、非常電源としてのレジリエンスの強化を図ります。

また、企業立地奨励金において、CO2削減や新エネルギー活用事業などを対象事業として追加し、企業の投資促進を図ります。

## No.2 100年先までまちの価値となる建物づくり

居住+景観+にぎわい

### 目的

将来の良好な都市景観を形づくる良好な建築ストックの集積し、  
**良好な街区ストックを形成する**

### 具体的取組

- ①中心市街地では、再開発など民間投資を誘導しつつ、将来の良好な都市景観を形づくる建物ストックの集積を図ります。

【良好な街区ストックの事例】  
パリ・マドレーヌ寺院付近の街区



【再開発事業の事例】  
市街地再開発事業+広場空間整備(豊橋市)



商業・業務・居住機能等や緑豊かな広場・交流空間を有し、良質な街区を形成する再開発事業の事例

## No.3 産業のスマート化促進

産業+ICT+環境

### 目的

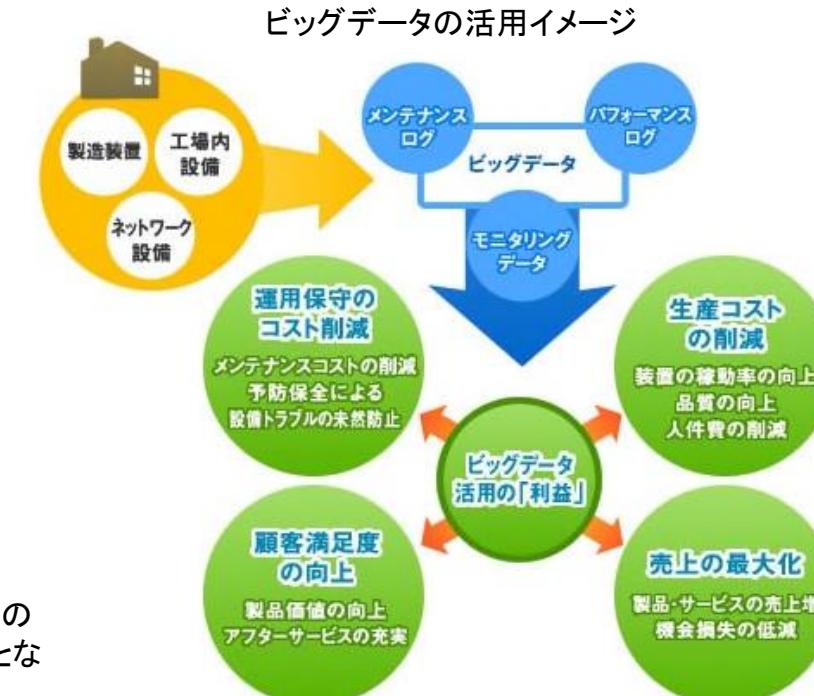
AI、IoT、ビッグデータなど新たな技術を活用し、  
**工場のスマート化を促進する**

### 具体的取組

- ①AI、IoT等を導入し、工場のスマート化に取り組むコンビナート企業や中小企業、市内製造業に対する支援を実施します。
- ②AI、IoT等の導入事例の紹介や利活用に関する研修等を実施します。
- ③脱炭素化を促進するために、水素やアンモニア等新燃料への転換を図る事業者への支援を実施します。



プラントにおけるドローンの活用は、高所点検の容易化、点検頻度の向上による事故の未然防止、災害時の迅速な現場確認等が可能となり、プラントの保安力の向上につながると期待されています。



## No.4 ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用した スマート農業導入支援

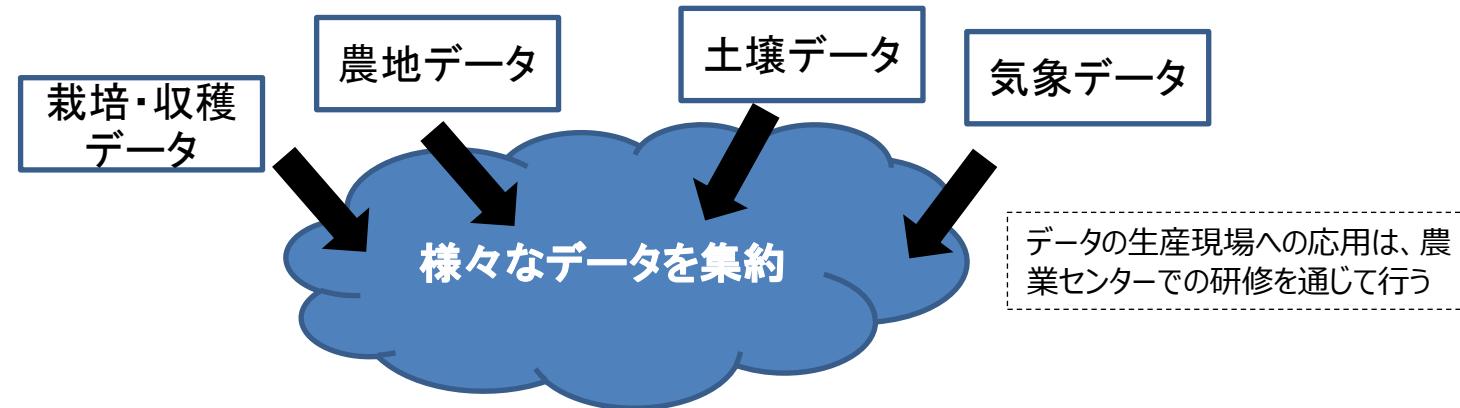
農業+ICT

### 目的

農業に関するデータを活用できる環境を整備し、作業の効率化・栽培技術の継承につなげることで  
**農業の担い手の高齢化や、労働力不足に対応する**

### 具体的取組

- ① 産地圃場でのセンサによる栽培や気象状況のデータを集積します。
- ② 導入を検討する農家に対する研修会やセミナーを開催します。
- ③ 相談体制を確立し、農業者と先端技術のマッチングを実施します。
- ④ 実証実験及び導入時における支援や助成を実施します。



- ・栽培ノウハウをデータ化し生産管理に活用
- ・生産管理データと気象データを連携させ、地域に応じた栽培暦を作成
- ・水田の水位管理にセンサ等を活用し、節水につなげる

農作業の効率化・省力化  
適切な病害虫管理  
技術継承、新規参入促進  
収益の向上

## No.5 まちと直結、便利で元気な郊外居住地づくり

生活+交通・にぎわい

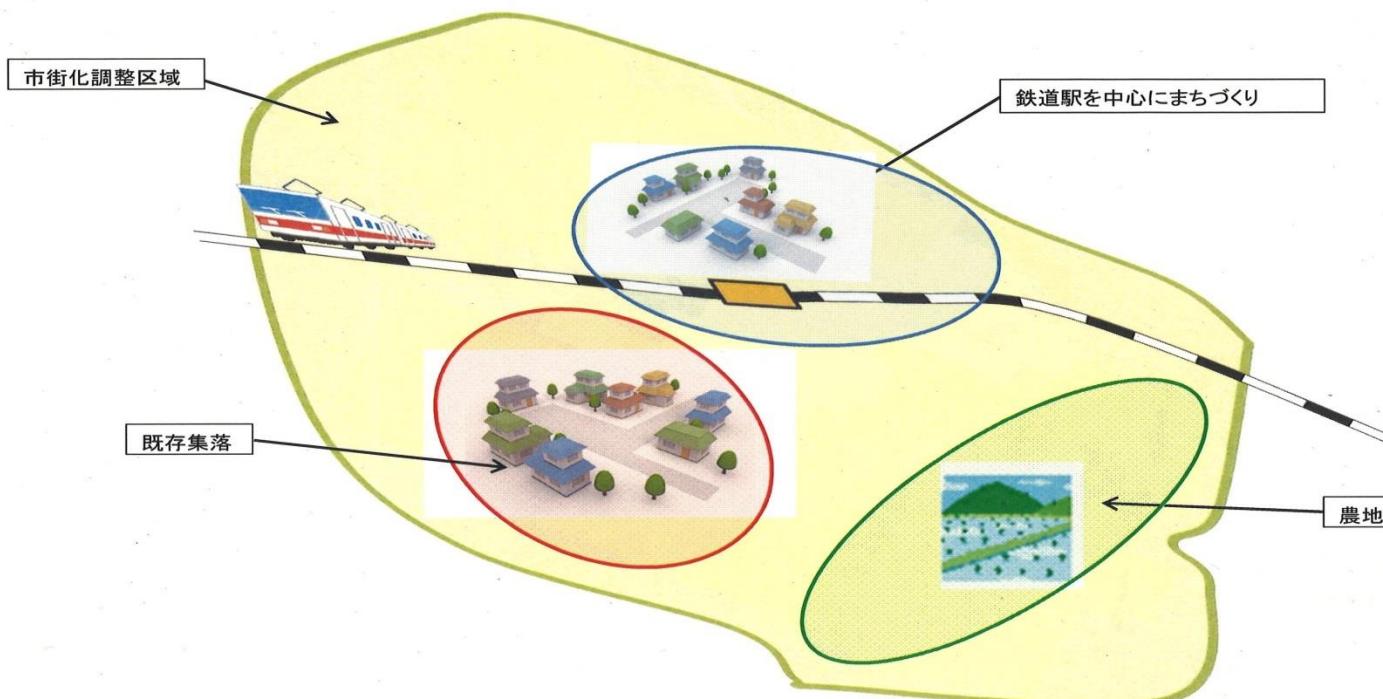
### 目的

通勤、通学に便利な鉄道駅を中心としたまちづくりを可能とし、

### 農村集落の維持・活性化を図る

### 具体的取組

- ① 市街化調整区域においても、鉄道駅を中心とした区域内で農地以外の一定の土地利用を許容する制度設計を検討します。
- ② 農業施策との整合を図ったうえで、必要なインフラ整備が行われるような制度設計を検討します。



# No.1 産学官連携でつくる みなとまちづくりプラン

港湾+にぎわい+観光+健康

目的

四日市港発祥の地である四日市地区を、市街地に近い利点と文化的資源や景観等を生かし、  
**四日市市と世界を繋ぐ交流の窓口として再生する**

具体的取組

- ①港まちづくりを具体化していくための根幹となる構想「みなとまちづくりプラン」を策定します。
- ②歴史的・文化的資源や運河など、港ならではの資源と景観を活用した、  
歩いて楽しめる空間づくりや環境整備を促進します。



国・県・四日市港管理組合・地元経済界・港湾関係者と共に、この地域一帯の魅力や価値を高めるエリアマネジメントの視点を持ち合わせた、港まちづくりを具体化していくための根幹となる構想を策定します。



市街地に近い利点と文化的資源や景観等を生かした憩いの場として、いつでも市民や来訪者が港に立ち寄って楽しめる魅力的な空間づくりを進め、本市の魅力を高めていきます。 42/63

## No.2 オアシス再編

環境・景観+子育て+健康

### 目的

人口減少、少子高齢化が進行する中で生じてきた未・低利用地を活用し、  
**公園の再編を核としたパイロット事業を展開する**

### 具体的取組

- ①公共施設の活用転換に伴い発生した公共用地や民間の未利用地を利用し、賑わい創出につながる新たな公園を整備し、市民に憩いの場を提供します。
- ②利用が見込めない小規模公園を廃止し宅地として売却を行い、子育て世代の定住を図ることで、多世代の住むまちへ再生します。



小規模・低利用公園例



市内には利用が見込めない小規模公園が多く、維持管理費のみが増加し続けています。これら低利用公園を廃止・統合し宅地として売却します。



新設公園イメージ

統合する新設公園は、子どもから高齢者まで様々な年齢層が楽しめ、イベント開催等、周辺住民の多様なレクリエーションニーズに対応したものとし、公園を中心としたまちの活性化を図ります。

## No.3 まちの『空き』をまちの『好き』にリニューアル

居住+景観

### 目的

人口減少の進行により増加が懸念される空き家や空き地の利活用促進により、  
**良好な居住地を形成する**

### 具体的取組

- ①居住地における空き家の建替えやリノベーション、空き地の利活用を促進し、既存ストックの有効活用を図ります。

#### 【空きストックの活用事例】 市営住宅跡地を公園へリニューアル



身近な公園が無い地域において、市営住宅跡地の『空き』を活用し、みんなが使える公園としてリニューアルを行った事例

#### 【空き家の利活用の事例】 住み替え支援事業を活用し空き家をリノベーション



Before  
After

## No.4 地域農業の振興と農地の保全

農業+地域

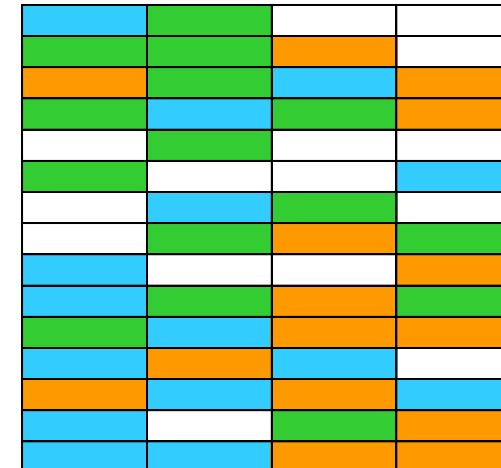
### 目的

地域で一体となった営農ができる集落営農体制を構築し、

**農業が継続できる環境を整え、農業・農地を保全する**

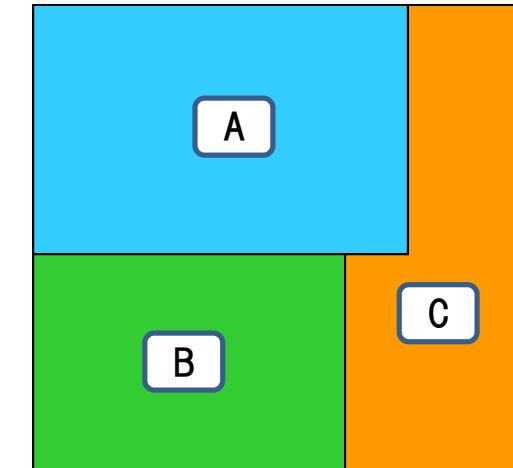
### 具体的取組

- ① 地域の農業関係者が一体となって計画的に農業を行う「地域農業づくりプラン」の策定を促すとともに、プランに基づいた活動を支援し、地域が主体となった農地や農業用施設の維持管理を図ります。
- ② 農地中間管理機構を活用した担い手農家への農地の集積を進めるとともに、「農地バンク」の運用を見直し、円滑に農地の斡旋をおこなうことにより、新規参入を促進します。



地域内の分散した農地利用

農地中間管理機構  
地域農業づくりプラン  
(人・農地プラン)



担い手ごとに集約化した農地利用

→ 農業の効率化、施設の維持管理の軽減

## No.1 迅速で分かりやすい防災情報の提供

防災+教育+消防

## 目的

防災・減災に関する情報伝達機能の強化により、  
**「自分の命は自分で守る」行動につなげる**

## 具体的取組

- ① 災害情報のプッシュ送信や多言語での配信が可能な防災アプリの導入やAR（拡張現実）機能により、分かりやすい防災情報の提供を行います。
- ② 複数の伝達手段に一斉配信するワンオペレーション情報発信システムを構築します。



防災アプリやARなどの最新テクノロジーの活用により、的確な情報提供と身近で分かりやすい防災教育を可能にします。



緊急時には様々な部署から、防災行政無線や安全安心防災メール、各種SNSなどの手段を活用し、迅速な情報提供を行います。

# No.2 自助・共助の取組の推進

防災+福祉+地域コミュニティ

## 目的

地域毎に取り組む自助・共助の取組を支援し、  
**「自分たちのまちは自分たちで守る」住民主体の行動を促進する**

## 具体的な取組

- ① 地域の創意工夫を凝らした避難支援への取組を支援する仕組みを構築します。
- ② 各地域毎にそれぞれ必要な防災情報を共有・発信できるシステムを構築します。
- ③ 「防災」と「福祉」の連携による高齢者等の避難行動を促進する地域づくりを構築します。



防災・減災の取組と在宅介護センターの取組を連携し、自助・共助にかかる地域の取組を支援します。



SNS等を活用し、地域の防災情報や避難情報を共有・発信できる仕組みを構築します。

# No.3 防災教育拠点の充実

消防+防災

## 目的

拠点の整備と機能の充実により  
**防災教育の推進を図る**

## 具体的取組

- ① 老朽化が進んでいる北消防署併設の防災教育センターにおいて、VR等の最新の技術を活用するなど市民が災害を身近に感じることができ、実践的な対応を学ぶことができる機材の導入や施設の改修等に取り組みます。
- ② 地域での自助・共助にかかる取組を支援するため、最新技術を活用するだけでなく、避難所運営や防災ツアーなどの体験型防災教育に取り組みます。



VR等の最新の技術や機材を導入し、市民が災害を身をもつて体験できる等、実践的かつ魅力ある施設へ改修を行います。



防災ツアーなどの体験型防災教育プログラムを活用し、人材の育成と防災訓練の充実を図ります。

## No.4 暮らしの安全性を高める川づくり(治水安全度向上)

河川+防災

## 目的

近年増加する局地的降雨で危険にさらされている中小河川沿川の対策を進めることで  
**治水安全度を高める**

## 具体的取組

- ①ひとたび堤防が決壊すると流域の住宅市街地に深刻な影響を与える三滝川、海蔵川の整備を促進します。
- ②三重県が行う三滝川、海蔵川の整備に必要な準用河川堀川の内水対策を進めます。



市街地を流れる三滝川。堤防の背後地に家屋が密集しています。



準用堀川における内水対策として  
①放流路の設置 ②排水機場の設置 ③阿倉川樋門の  
操作規則変更 を三滝川分派完成までに行います。